

<日付> 10月19日 (水) <学級> 4年1組

教科・単元名 国語「ごんぎつね」

実践の概要

学習活動（5）「各場面のごんと兵十の気持ちや情景のえがかれ方を読み取る」

一の場面について、ごん（ピンク色）と兵十（水色）の行動やごんの気持ち（緑色）が書かれたカードを並べ替え、プロット図に整理した。それぞれが考えたプロット図をもとに、班でカードの順番を話し合った。その後、本文と照らし合わせながら全体で確認をした。

子供の姿

一の場面のごんの行動について書かれたカードを見て、順序よく並べようとしている。



教科書の本文を読み、あと一つのカードがどこに入るか考えている。



班で話し合い、まとめたプロット図を比較している。班によって順序に違いがある部分を見つけ、本文で確かめている。



「じれったい」とはどういう意味かな、辞書を引いて確認しよう。

感想 P プロット図で教科書の本文を並び替える学習活動を通して、子供たちがごんや兵十の行動に注目しながら本文を読むことが必然的になり、場面の移り変わりを捉えることができた。また、意味が曖昧な言葉があるとすぐに辞書で調べたり、インターネットで検索したりして語彙を増やそうとする姿が見られた。「もず」を調べた時は、インターネットで検索した画像を見たり鳴き声を聞いたりしていた子どももいた。

I ・プロット図を使って場面ごとに登場人物の行動や気持ちを整理したこと

まとめ

タブレットでカードを並べ替える学習活動を通して、ごんと兵十の行動やごんの気持ちについて順序よく読み取ることができ、有効であった。また、本文をよく読むことが必然的となったため、意味が明確でない言葉があった時には自発的に調べる姿も見られた。